

Rinnai

2012年度第2四半期 決算説明

2012年11月5日

2012年度第2四半期 連結決算要点

1

売上高：1142.1億円 （前期比 0.1%）

オーストラリア、アメリカの減収を国内販売増でカバー

営業利益：106.0億円 （前期比 7.9%）

海外子会社減収影響と点検対策費用計上で減益

経常利益：115.1億円 （前期比 7.0%）

営業利益の減少に伴い減益も、経常利益率10.1%と高い水準を維持

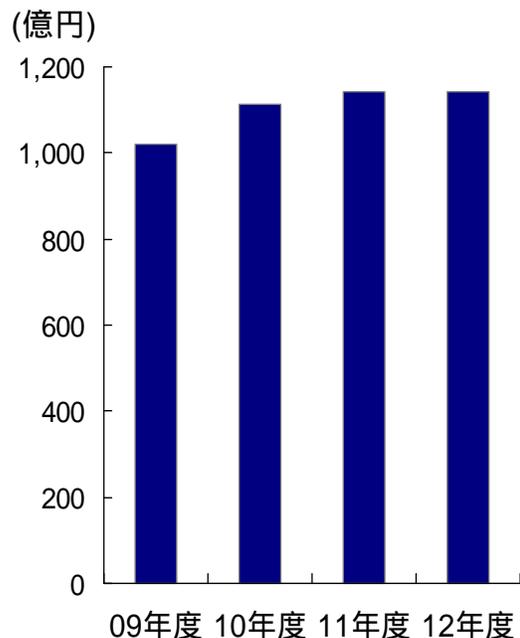
四半期純利益：74.7億円 （前期比 +13.7%）

株式評価損を計上した昨年に対しては増益

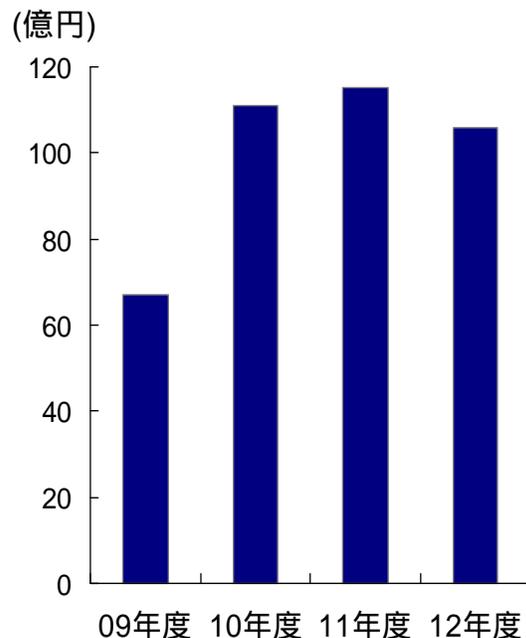
- ・ 一部地域の伸び悩みと、点検対策費用計上で微減収営業減益
- ・ 海外の回復基調と原価低減で通期計画に変更はなし

連結業績推移（第2四半期）

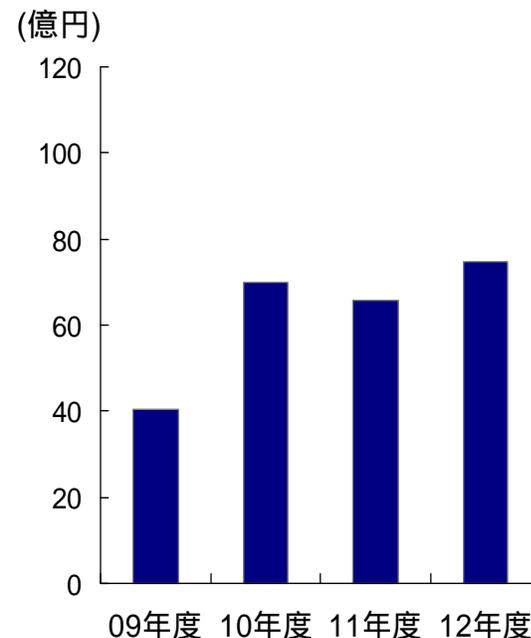
売上高



営業利益



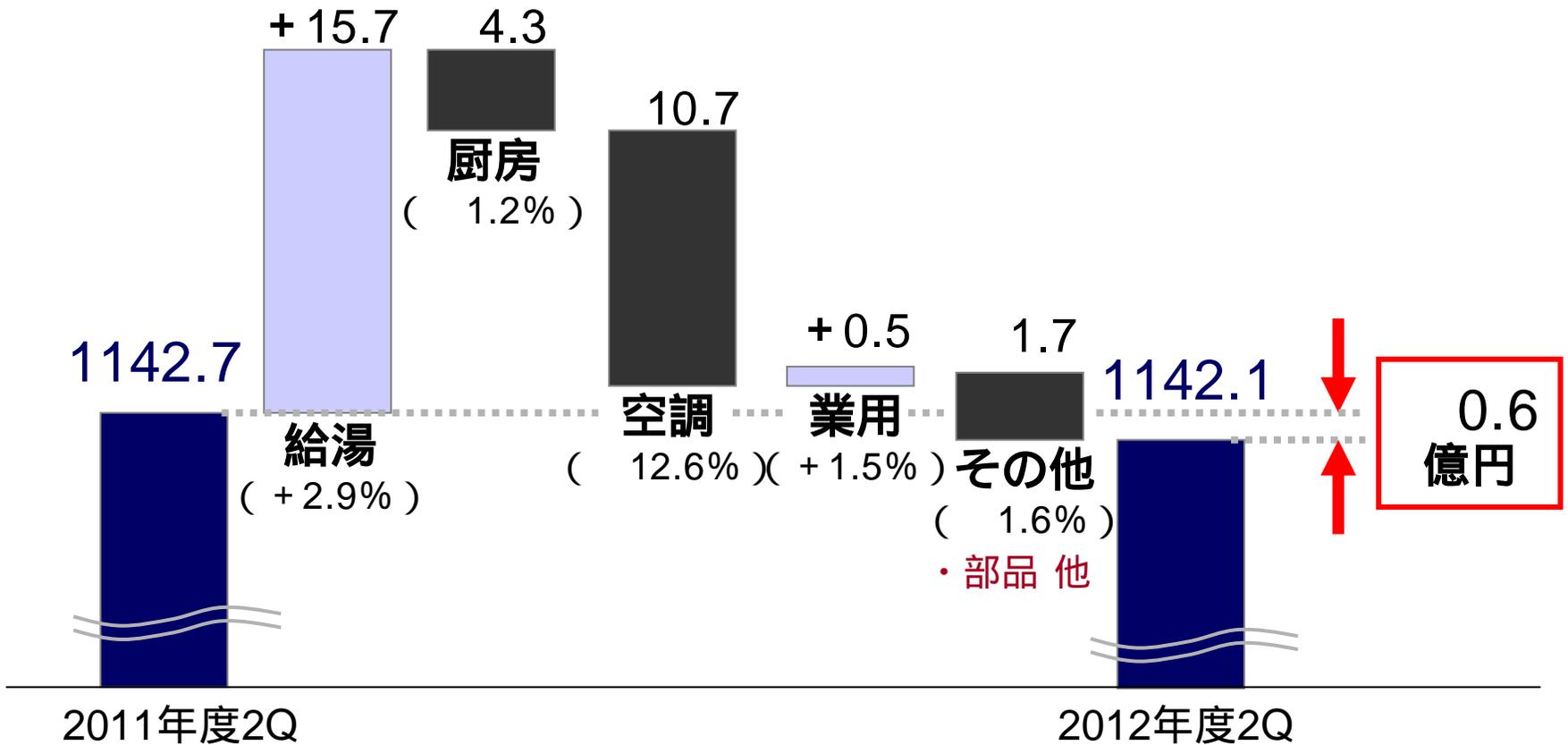
四半期純利益



- 売上高、営業利益は減収減益も高水準を維持。実質成長は継続
- 四半期純利益は過去最高を計上

2012年度第2四半期 連結売上分析（商品別）³

[単位：億円]



- ・ 給湯分野において好調な国内が売上増に貢献
- ・ オーストラリアでの学校向け暖房機特需の反動減で空調分野は減収

2012年度第2四半期 連結損益実績内訳

[単位：億円]

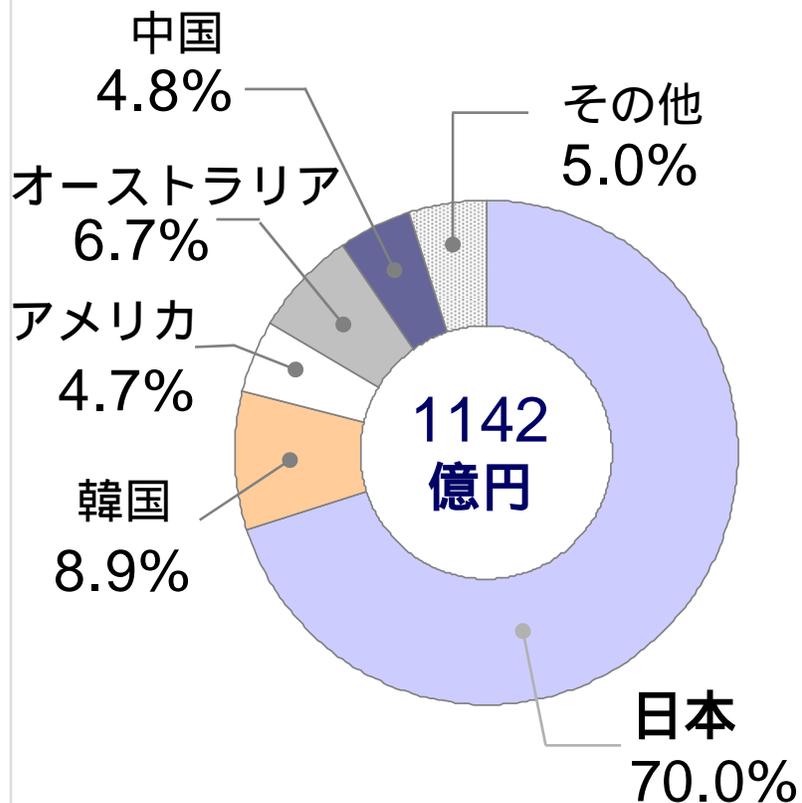
	売上高	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減率	営業利益率	前期比 増減率
連 結	1142.1	0.1%	106.0	7.9%	9.3%	0.8P



	売上高	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減率	営業利益率	前期比 増減率
リンナイ	842.6	+ 2.1%	65.2	7.1%	7.7%	0.8P
国内関連	433.3	4.5%	7.4	2.9%	1.7%	+ 0.0P
海外関連	370.9	5.0%	32.5	17.7%	8.8%	1.4P
合 計	1647.0	1.3%	105.2	10.4%	6.4%	0.6P

連結売上高 セグメント(地域)別構成比

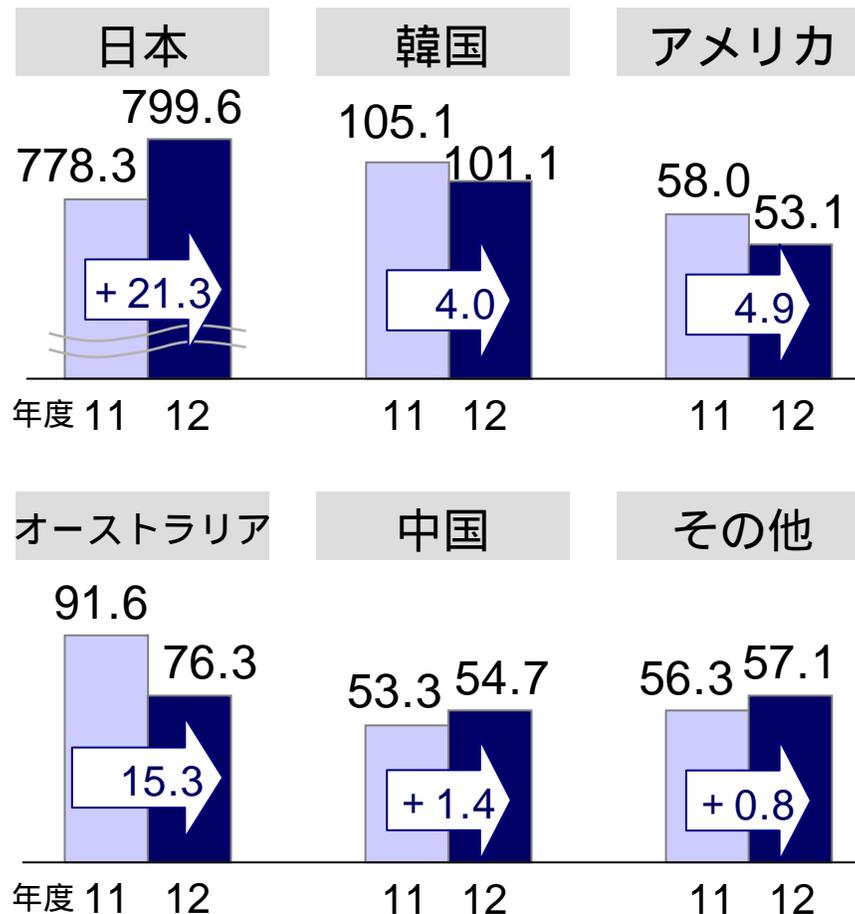
2012年度2Q 売上高



その他：台湾・タイ・ベトナム・ニュージーランド・ブラジル等の現地法人の事業活動を含む

セグメント(地域)別前年比較

[単位：億円]



商品別売上実績（給湯機器）

[単位：億円]

	2011年度 2Q	2012年度 2Q	前期比 増減率
日本	341.7	361.7	+ 5.8%
韓国	43.3	43.6	+ 0.7%
アメリカ	53.5	49.0	8.3%
オーストラリア	39.4	37.2	5.5%
中国	42.9	44.4	+ 3.6%
その他	26.2	26.7	+ 1.9%
合計	547.2	562.9	+ 2.9%

商品構成比：49.3%



日本

アメリカ



オーストラリア

- ・国内はガス機器需要の高まりと、高付加価値商品へのシフトで好調
- ・アメリカは景気回復遅れで出遅れるも減収幅は縮小
- ・オーストラリアは主力のガス給湯器が成長持続もソーラーの販売減

商品別売上実績（厨房機器）

[単位：億円]

	2011年度 2Q	2012年度 2Q	前期比 増減率
日本	309.8	309.3	0.2%
韓国	29.3	26.9	8.0%
中国	8.4	7.4	12.0%
その他	14.8	14.3	3.4%
合計	362.5	358.2	1.2%

商品構成比：31.4%



日本



韓国



中国

- ・ 国内はビルトインコンロとレンジフードが伸長もテーブルコンロが減
- ・ 韓国では市場縮小と競争激化でコンロ販売減少

商品別売上実績（空調機器）

[単位：億円]

	2011年度 2Q	2012年度 2Q	前期比 増減率
日本	35.6	37.3	+ 4.7%
韓国	1.0	0.2	77.1%
アメリカ	4.1	3.7	9.9%
オーストラリア	40.8	29.9	26.8%
その他	3.2	2.9	6.8%
合計	84.8	74.1	12.6%

商品構成比：6.5%



日本

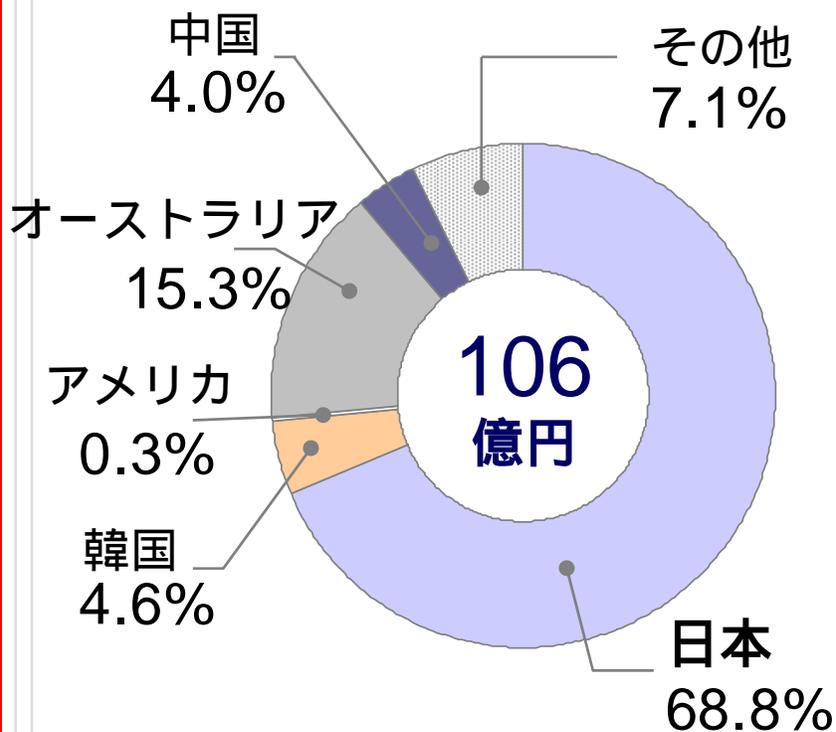


オーストラリア

- ・日本では節電意識の高まりで
ガス暖房機へのシフト継続（2010年度2Q比+32.0%）
- ・オーストラリアは昨年上期までの補助金による特需の反動減

連結営業利益 セグメント(地域)別構成比

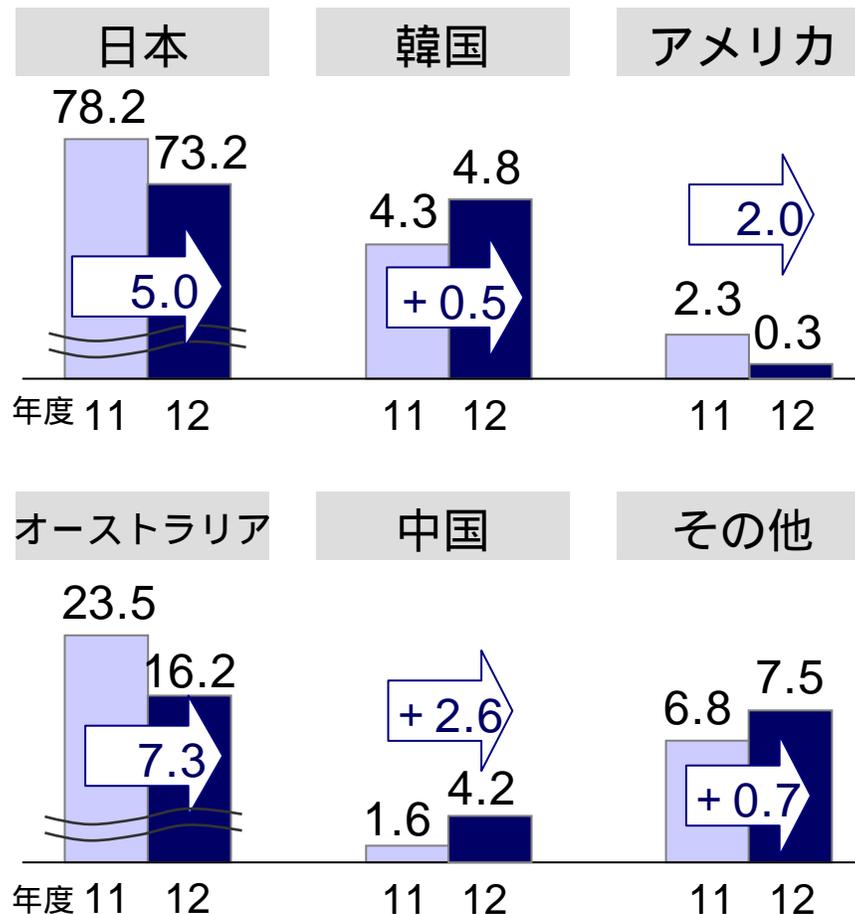
2012年度2Q 営業利益



その他：台湾・タイ・ベトナム・ニュージーランド・ブラジル等の現地法人の事業活動を含む

セグメント(地域)別前年比較

[単位：億円]

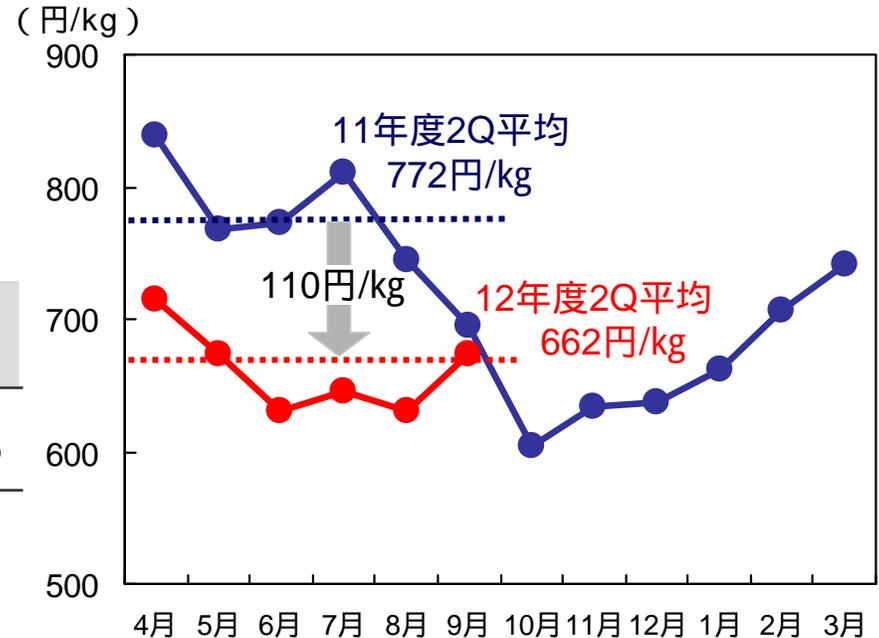


電気銅の動向

- 12年度の期初の想定単価
780円/kg を下回り推移

	12年度 2Q	11年度 2Q	前期比 増減率
平均単価	662	772	14.2%

使用箇所：給湯器（熱交換器等）

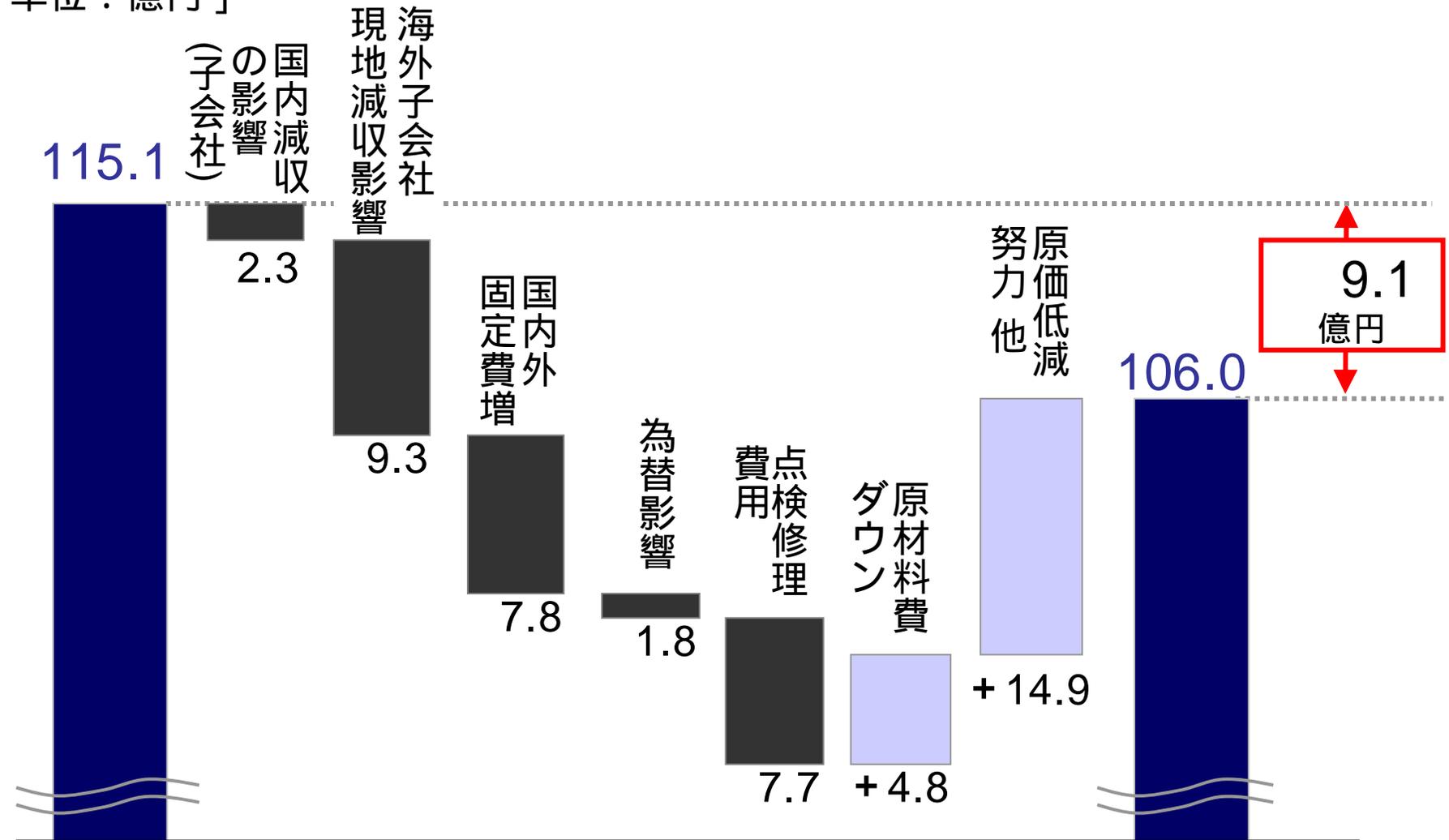


鉄鋼の動向

- 鉄鋼材料は昨年度よりも低い水準で推移

2012年度第2四半期 連結営業利益分析

[単位：億円]



2011年度2Q

2012年度2Q

Rinnai

EXPERIENCE OUR INNOVATION

本資料に掲載されております業績予想や将来予想は、現時点において入手可能な情報に基づき当社が判断して予想したものであり、実際の業績は今後様々な要因の変化により予想とは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。